

自分らしく生きるを どう支援する？

令和5・6年度報告

“はなはな”の支援って 何だろう？

スタッフみんなで考えてみました

私たちの法人はいろいろな事業を実施しています。
各事業では日々いろいろな形の支援を行っています。
この多種多様な支援は何の目的で行っているのでしょうか？

私たちが行っている『支援』って、 なんだろう？

子どもの発達を促す
ことかな？

家族を支援する
こと？

自分を見つけたり
認める事？

成功体験を
たくさん積む？

地域で子育てする
環境を整える事？

楽しい人生を送る為
に自己選択できる力
を育てる事？

大人になった時の
イメージも必要
だよな？



みんなで話し合いを重ねた結果は、

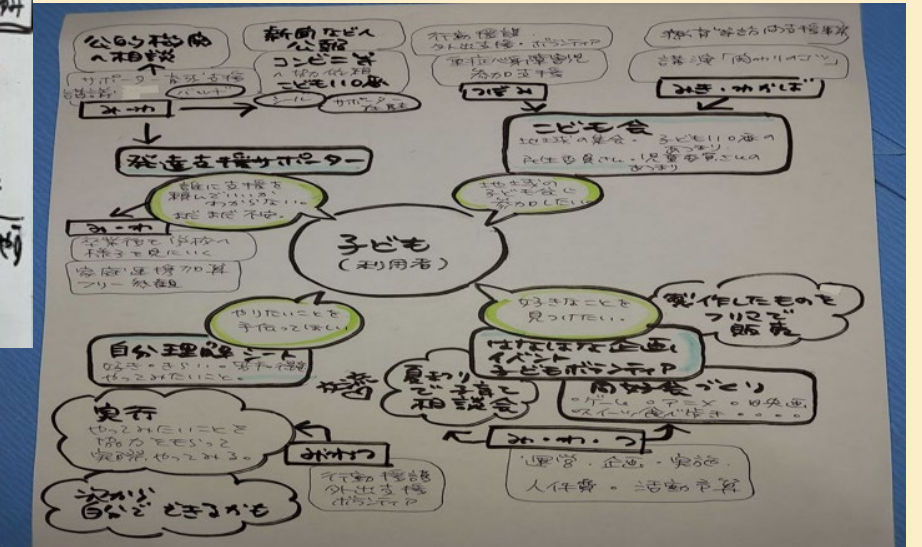
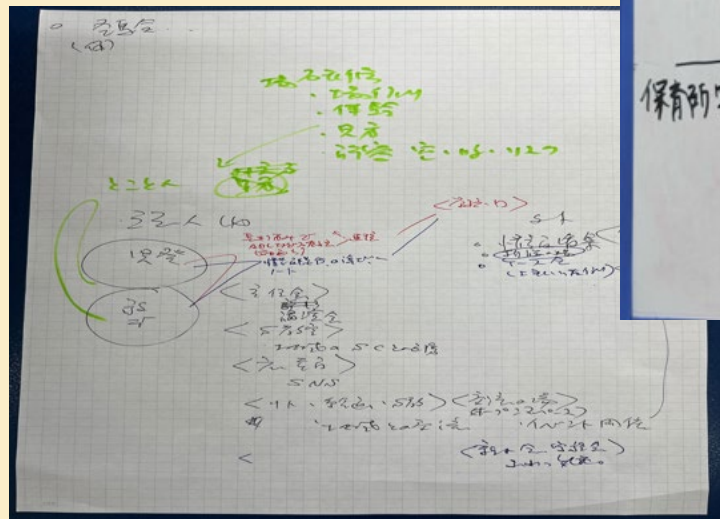
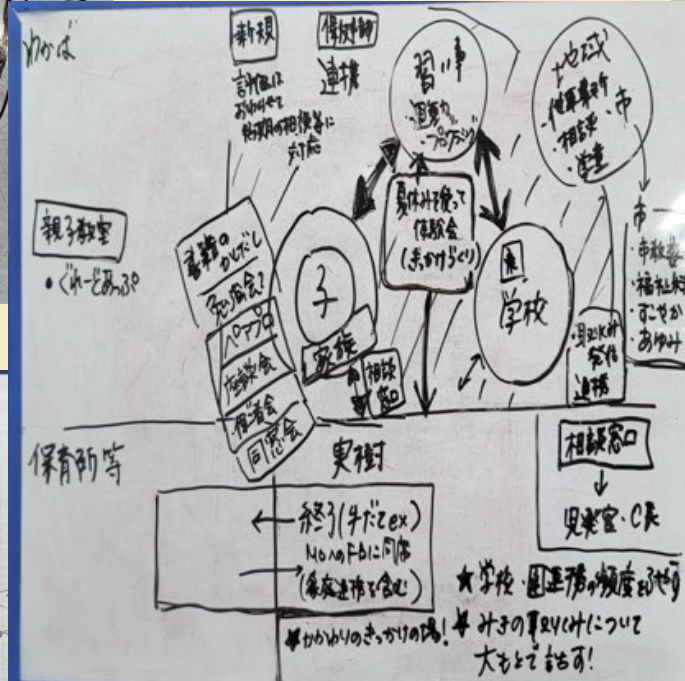
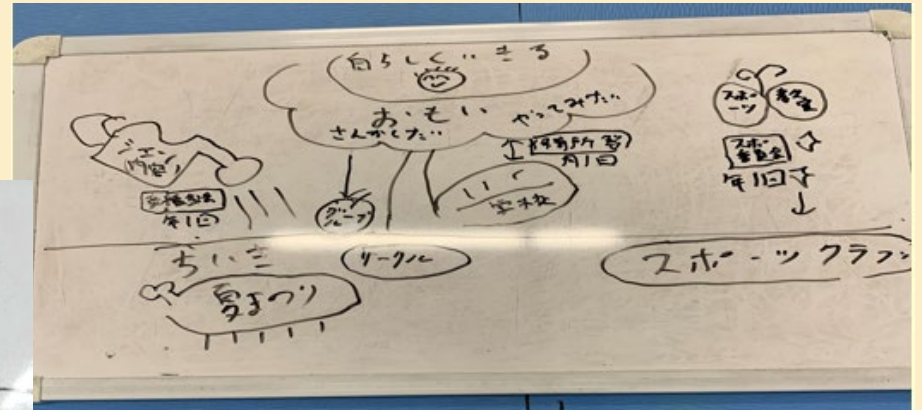
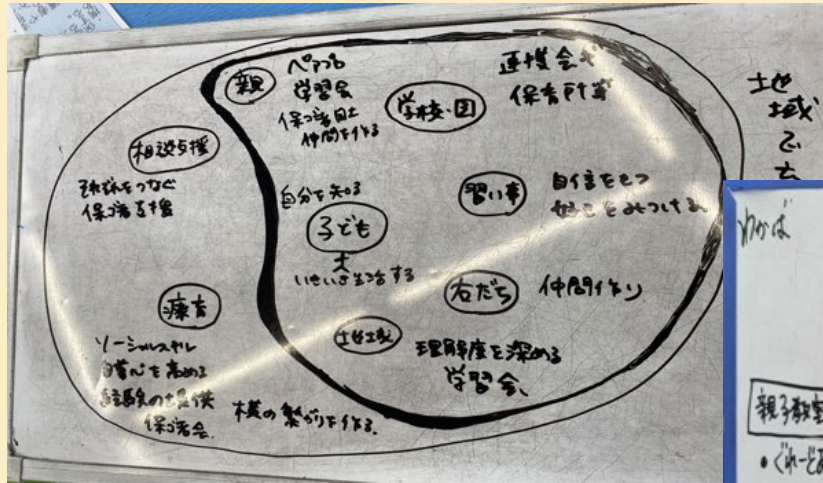
『自分らしく生きる』
を支える支援！！！！

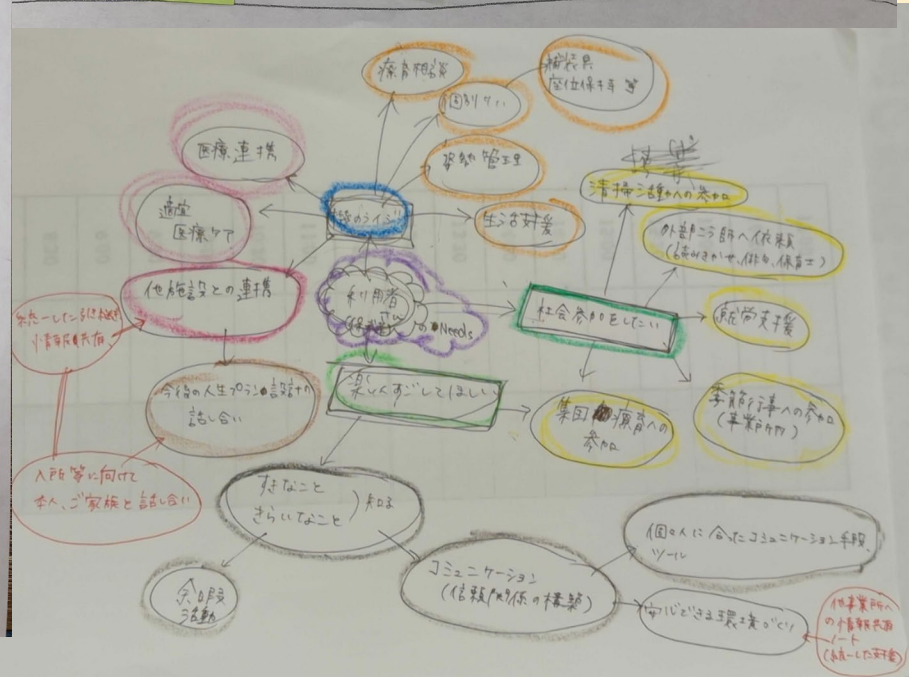
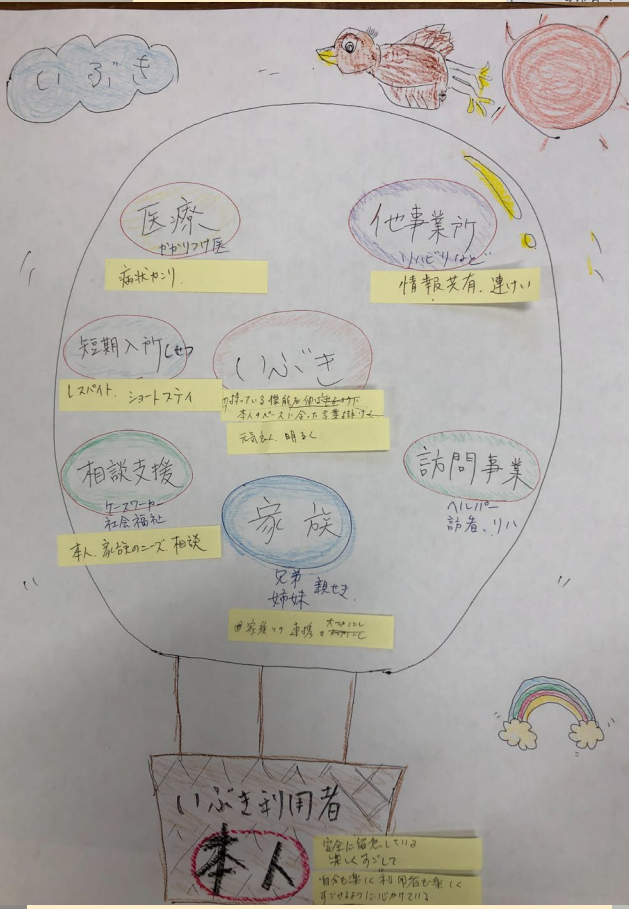
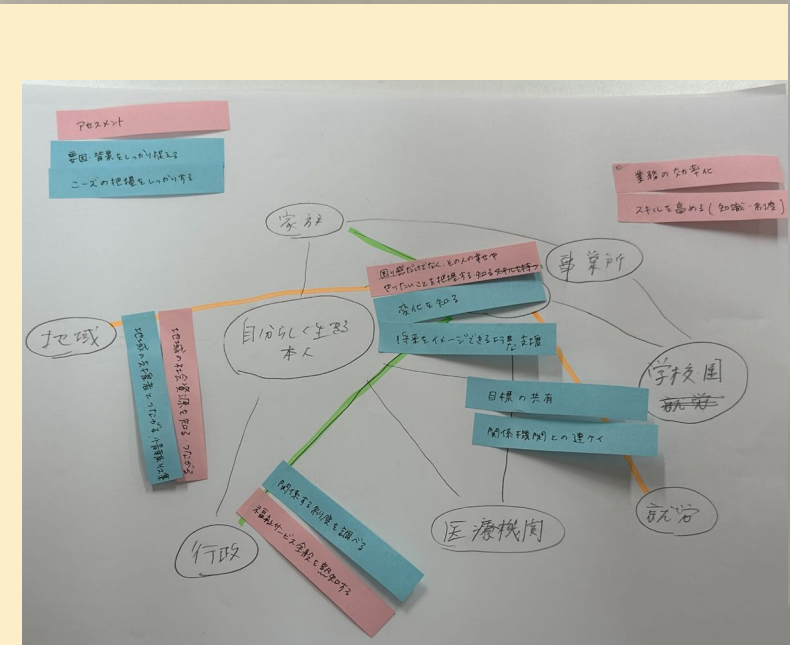
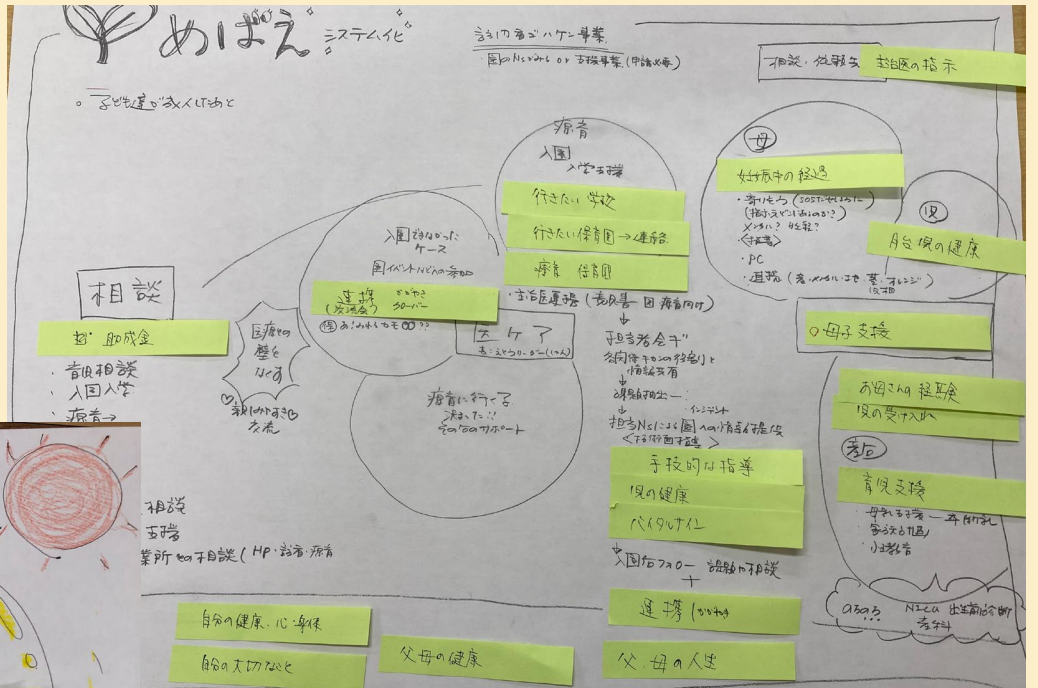
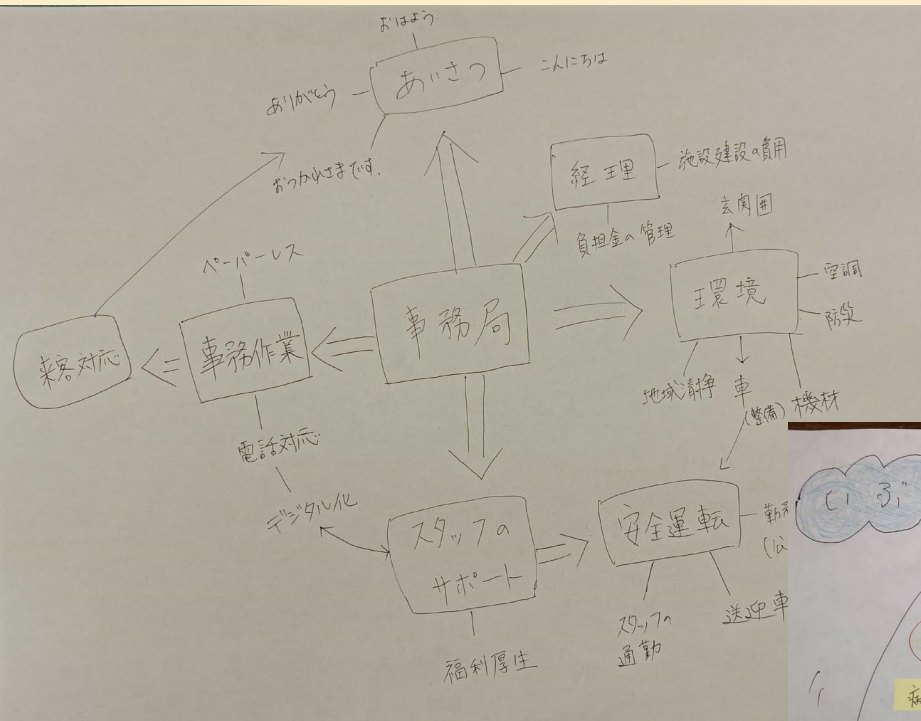


みんなで共有しよう！

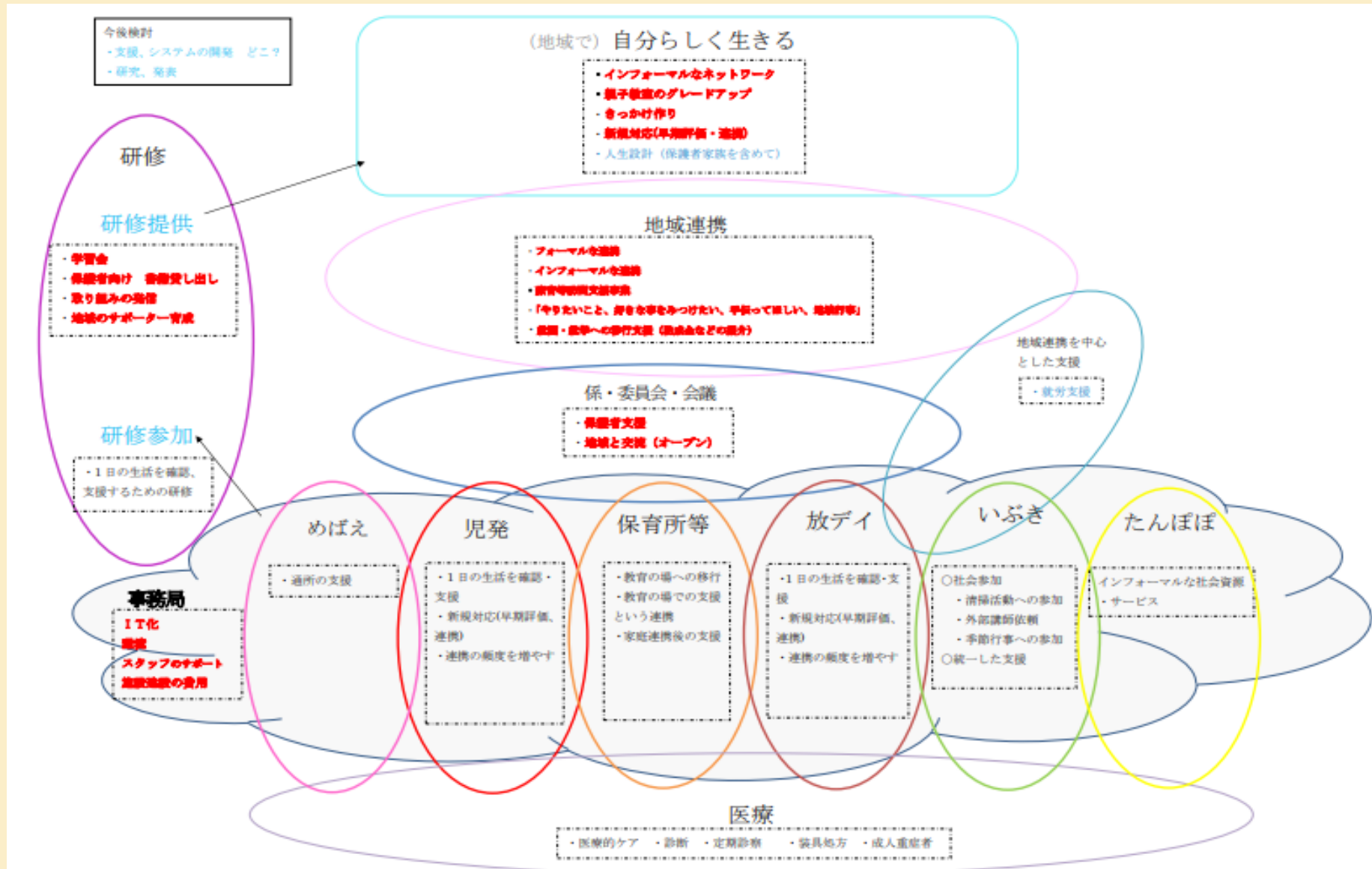


『自分らしく生きる』をどう支援するか？ 具体的なアイデアをみんなで考えて・・・





『自分らしく生きる』を支援する 組織のイメージを完成させました



令和5年度、「自分らしく生きる」を意識して、

今できる支援の検討、実施
を行いました！

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～わかば～

どの様に支えることに役立つか？

長時間の小集団療育（3～4時間）を通して、その子の実際の生活動作を知ることや余暇の過ごし方、他者との関わりについて知る

支援の期間：夏休み

～つぼみ～

どの様に支えることに役立つか？

子ども同士、保護者同士、いろいろな方と友達になる

支援の期間：9-10月

～たんぽぽ～

どの様に支えることに役立つか？

面談の際に福祉サービス以外の受け皿の情報(習い事、塾、本人の興味関心があるもの等)を収集し、「こんなことがしてみたい」に対して情報提供が行える

支援の期間：年内

～実樹児発～

どの様に支えることに役立つか？

保護者を支える（保護者同士の繋がりを広げる・子どもの生活の基盤を作る手助け・生活リズムや動作の向上に繋げる）

ダウン症の保護者の集まりの計画・月曜日グループの中での保護者同士の語らいの場計画・3歳以上児を中心とした保護者の語らいの場計画

支援の期間：ダウン症の会→10月予定

保護者の語らいの場→今年度中

～実樹放デイ～

どの様に支えることに役立つか？

長時間療育での療育

実生活に沿った力や生活スキルを把握でき保護者と共有する。必要な支援を検討したり、継続して療育と家庭で取り組みを行っていく事で、社会生活に繋げていき保護者や利用者を支えていく。

支援の期間：今年度

～いぶき～

どの様に支えることに役立つか？

季節行事への参加は10月8日の運動会を実施

支援の期間：継続して支援

～めばえ～

どの様に支えることに役立つか？

母親の社会復帰や子どもたちの社会参加を促す為、医療的ケア児、スペシャルニーズのあるお子さまの療育移行・入園・入学支援を行う(園・事業所の看護師・保育士の技術面・メンタルサポートも含む)

ご家族の休息やイベント参加、用事などを安心して行っていただけるよう医療的ケア児のレスパイト事業を行う

医療的ケア児、スペシャルニーズのあるお子さまやご家族の相談業務

支援の期間：継続して支援

令和5年度、「自分らしく生きる」を意識して、

実施した、今できる支援の
成果を報告します！

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～わかば～

どの様に支えることに役立つか？

長時間の小集団療育（3～4時間）を通して、その子の実際の生活動作を知ることや余暇の過ごし方、他者との関わりについて知る

支援の期間：夏休み

成果

個別療育ではみられないやり取りがみられた
他者を参考にしたり、じっくりと取り組む姿がみられた

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～つぼみ～

どの様に支えることに役立つか？

子ども同士、保護者同士、いろいろな方と友達になる

支援の期間： 9-10月

成果

笑顔に溢れていた

帰宅後も音楽に乗ったり踊って楽しむきっかけができた

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～たんぽぽ～

どの様に支えることに役立つか？

地域の人との関わりを広げる

習い事などインフォーマルな社会資源の広がり活用

何らかの支援を利用している方の「こんなことがしてみたい」に対して情報提供が行える

支援の期間： 年内

成果

必要としている児・者に対してインフォーマルな資源を選択肢として提案できた

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～いぶき～

どの様に支えることに役立つか？

統一した支援によって利用者の生活の質を向上する

支援の期間：3・8月

成果

利用者一人一人の意思表示をくみとる事ができるようになり充実した活動に繋がっていると実感できる

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～めばえ～

どの様に支えることに役立つか？

母親の社会復帰や子どもの社会参加を促す 母子分離の機会
継続した支援 メンタルサポート・相談業務
園や療育看護師・保育士に技術や知識を提供する

支援の期間： 継続して支援

成果

園や看護師・保育士に向けて相談や技術面の研修を行った
市町村の就園の支援や看護師派遣を行った
母親の復帰の手助けを行った
スペシャルニーズ医療的ケア児の受け入れに対して支援できた

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～実樹児発～

どの様に支えることに役立つか？

保護者を支える（保護者同士の繋がりを広げる・子どもの生活基盤を作る手助け・生活動作の向上）

支援の期間：10月 年内

成果

保護者との横の繋がりができてよかった

保護者が就学後の事を考える機会になった

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～実樹放ディ～

どの様に支えることに役立つか？

実生活に沿った力や生活スキルを把握でき保護者と共有できる
必要な支援を検討・継続して療育と家庭で取り組みを行って
いく事で社会生活に繋げていき保護者や利用者を支えていく

支援の期間： 8・11・12月

成果

個別・小集団療育の違いが分かり、次年度に向けて療育内容の
参考になった。その様子を保護者と共有し、今後の取り組みや
目標設定に繋がられた
療育で行った活動を家庭でも取り組んでいただけたり、挑戦す
る機会に繋げることができた

「自分らしく生きる」をどの様に支援するか、
スタッフみんなで同じイメージが持てるように

研修会を実施しました

講演会 「自分らしく生きるを支援する」

令和5年10月14日

講師 江之口 博行 さん （おおすみ障害者就業・生活支援センター）

支援とは、**思いを受けとめて寄り添うこと**

しかし、ご本人の『こうなりたい』を聴いて、『ご本人の現実』とのギャップがある『思いを受け入れる』のではなく、『思いを受けとめる』こと、ゆるやかな自己決定支援

『強み』とは何か???

「その人特有の思考・感情・行動に反映される力であり、その人にとって特別な意味を成す、生きる上で頼りになるもの」



自分の『弱み』を『強み』に変える！

リフレーミング

- ・「ある枠組みでとらえていた物事を、枠組みを変えてとらえなおす」という考え方
- ・見方（考え方）を変える→不満を満足や喜びに変える

例：内向きな性格→控えめな態度が取れる

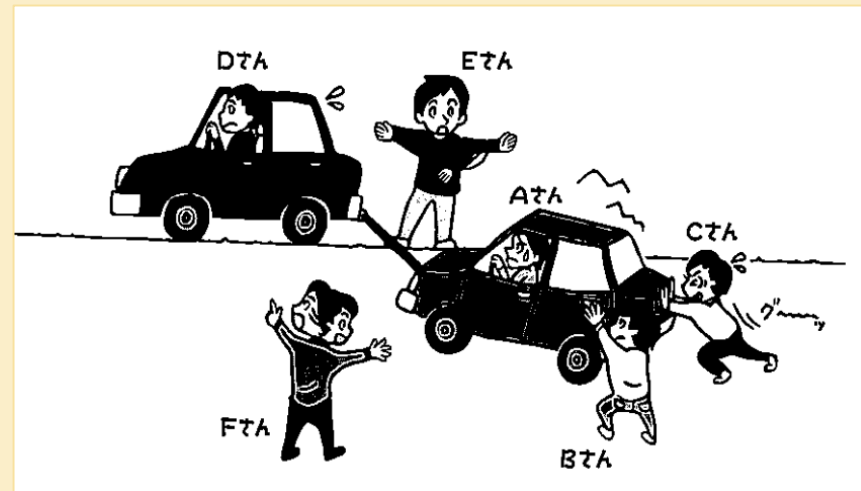
こだわりが強い→好きな物はとことん好き、大事な物を守る力が強い



エンパワーメント (empowerment)

『力をつける』『自信を与える』という意味を指します。

個人やチームがもともと持っている能力を十分に引き出せる環境を整えていくこと



はなはなは多職種で利用者の方の支援に関われる
『強み』がある！だからこそ連携が必要！！

“はなはな”に関わる皆さんと職員自身の『自分らしく生きる』こと、
そしてその支援に今回の学びを活かして参ります。

令和6年度も「自分らしく生きる」を意識して、
今できる支援の検討、実施を
行っています！

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～わかば～

計画

長時間療育実施

次に繋がる経験を作る・自分でやってみよう、挑戦してみたい
ことが増える・他者と会いにくることが楽しみになる

支援の期間：長期休み（夏・冬）

成果と見極め

活動のバリエーションが増える

子どもの感想や表情、自分で決められることが増える

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～つぼみ～

計画

高校生・中学生の生活介護体験

支援の期間：2学期

成果と見極め

高校卒業後についてイメージする機会に繋がる

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～たんぽぽ～

計画

面談等を通じて利用している習い事の情報を集め、ニーズのある見や者に情報提供を行えるようにする

支援の期間：年度内

成果と見極め

- ・ 習い事などのインフォーマルな資源の情報提供を行い、ニーズを充足できたケースがあるか
- ・ 専門部会等で情報の共有ができ、市内の社会資源の情報を収集する

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～いぶき～

計画

- 1) 清掃活動への参加（施設周辺のごみ拾いを行う）
- 2) 季節の行事を行う（運動会実施）

支援の期間：1) 3月実施 2) 10月13日

成果と見極め

- 1) 経験しない行事や活動への経験を行う
- 2) 利用者の能力を引き出す
家族と共に参加することで自宅で生活の充実感に繋がる

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～めばえ～

計画

医療的ケア児 レスパイト事業 相談窓口

スペシャルニーズのある子どもたちの就園・就学支援

支援の期間：一年を通して

成果と見極め

- ・子ども達の社会参加を促し、療育発達を促すことができる
- ・医療ケア児やスペシャルニーズのある子ども達を知ることによって周りが支援の仕方を学ぶことができる
- ・母親の休憩やリフレッシュタイムが取れる。母親復職が可能になる

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～児発実樹～

計画

保護者を支える（保護者同士の繋がりを広げる・子どもの生活の基盤を作る手助け・生活リズムや動作の向上に繋げる）

- 1) グループ療育の保護者で月1お話を会をする
- 2) 未就学・経験の少ない対象児を中心に外出の機会を作る

支援の期間： 1) 月1で30分程度実施（11月～）
2) 1～2ヶ月に1回程度

成果と見極め

- 1) 保護者同士横の繋がり・顔を合わせた時にお話しする機会・同じテーマで相談することで支援の手立てが増える
- 2) 様々な活動を通して親子でする活動の経験が増える

今できる支援の検討、実施（各部署別）

～実樹放デイ～

計画

自分の好きな事や仲間を見つける（余暇活動）

好きな事での他者との繋がりを広げたり、新しい趣味や好きな事を見つける機会になる

（例：ゲーム 料理 スポーツ ランチ会 陶芸 絵画等）

支援の期間：半年～1年

成果と見極め

やってみたい活動を自分で決めて参加することができる
参加時の様子・その後の家庭や療育での様子で見極める